

北海道立総合博物館の概要

1. 設置目的

北海道の歴史、文化、自然等に関する資料を総合的に収集・保管・展示し、これらの調査研究と成果の普及により道民の教養の向上及び文化の発展に寄与するために設置。

2. 施設

設置目的を達成するため、道立自然公園野幌森林公園記念施設地区内に次の3つの施設を設置。立地環境を活かし、道民サービス向上と効果的運営を図る観点から、公園内を一つのゾーンとして一体的に管理。

| 施設名 | 施設概要 | 施設内容（主なもの） |
|---|---|--|
| 北海道博物館 〔旧開拓記念館〕 (平成27年開設) ※旧開拓記念館は、 昭和46年開設 | ・平成27年度、旧開拓記念館とアイヌ民族文化研究センターを統合、リニューアルオープン。 ・開拓の自然、歴史、文化の資料を収集、保存、展示する道立総合博物館の中核施設（条例上は、本館）。 | ・総合展示室（3,011㎡）※常設 ・特別展示室（665㎡） ・収蔵庫（2,392㎡） ・記念ホール（270㎡） ・講堂（363㎡） |
| 北海道開拓の村 (昭和58年開設) | ・開拓過程における生活、産業、文化等の歴史を示す建造物等を移設、復元した野外博物館。 | ・展示建造物（52施設） ・ビジターセンター（講堂200席） |
| 野幌森林公園 自然ふれあい交流館 (平成13年開設) | ・北海道の自然に関する情報提供や公園利用マナーの普及啓発を行う野幌森林公園利用の拠点施設。 | ・展示制作コーナー ・自然観察コーナー ・体験学習コーナー |

※指定管理者制度導入年：北海道開拓の村（H18～）、自然ふれあい交流館（H19～）、北海道博物館〔旧記念館〕（H22～／受付、案内、施設維持管理業務のみ）*H22から3施設一体管理

3. 事業

| 施設名 | 事業内容 |
|---------------------|---|
| 北海道博物館 | ・歴史、文化、自然等に関する資料の収集、保管、展示 ・収集、保管、展示する資料に関する調査研究 ・資料の保管、展示等に関する技術的研究 ・アイヌ民族文化に関する調査研究、成果の普及、情報収集・提供等 ・講演会、展示会等の開催及び開催支援 ・特別展示室及び附属設備の貸出 ・資料に関する案内書、解説書、研究紀要等の作成、配布、説明、助言等 ・他の博物館等との連携、研究活動等への協力 |
| 北海道開拓の村 | ・開拓の歴史を示す建造物等の保管、展示 ・開拓過程における生活様式、年中行事等に係る催しの開催及び協力 ・展示物に関する案内書、解説書等の作成、配布、説明、助言等 |
| 野幌森林公園 自然ふれあい交流館 | ・野幌森林公園の自然に関する資料の収集、保管、展示 ・収集、保管、展示する資料に関する調査研究及び説明、助言等 ・自然に関する情報提供、講演会、講習会、研究会等の開催及び協力 |